

3つの「密」(①換気の悪い「密」閉空間 ②多数が集まる「密」集場所 ③間近で会話や発声をする「密」接場面)が、それぞれ感染リスクとなることを踏まえ、以下の内容について十分留意して行うこと。

[共通事項]

- 1 活動への参加については、保護者の理解を得た上で、無理をさせないように配慮する。
- 2 部活動開始時に、生徒の健康チェックを必ず行い、体調の変化を確認する。
発熱(37℃以上)等の風邪の症状があるなど、体調不良の生徒の参加は認めない。
- 3 生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、教員等が活動状況を確認する。
- 4 運動部の活動は、3つのステップに分けて段階的に実施する(別添運動部活動を安全に再開するためのガイドライン参照)。
- 5 文化部の活動は、各教科における感染症予防対策に準じて行うものとする。
- 6 体育館・柔剣道場・教室等の活動場所が密閉空間とならないよう、2方向以上の窓を同時に開けるなど、換気に努める。
- 7 体育館・ホール等で生徒が密集しないよう、部員数を考慮して活動場所のローテーション等を工夫する。
- 8 更衣場所(更衣室及び部室等)については、複数の部が集中しないよう、時間をずらす、時間を区切るなどの工夫をするとともに、換気に努める。
- 9 部活動開始前、休憩中、終了後など、手洗いをこまめに行わせる。
- 10 生徒が手を触れる箇所(ドアノブ・手すり・スイッチなど)は、消毒液等を使用して活動前後に清掃する。
- 11 熱中症対策として、短い間隔で休憩をとり、水分補給を確実にさせる。

[運動系部活動に関する事項]

- 1 当面の間（概ね2週間程度）は、基礎体力の回復、個人のスキルアップを目的とした活動を中心に実施する。特に、長期間あまり運動をしていなかった生徒が多くいることを考慮し、運動の質や量を少しずつ高めることにより、けがの防止に努める。また、各競技の中央団体が作成しているガイドラインを参考にして、段階を追っての活動を行う。
- 2 屋外や屋内の換気の良い環境であっても、各ステップに応じた間隔を空けるとともに、対人練習などの生徒同士の接触を極力避け、人の密度を下げることに留意して行う。

例えば

① 身体接触や人と人が接近するような練習

- ・柔道の寝技・乱取り
- ・サッカー、バスケットボール、ハンドボール等の接触プレー など

② 近距離に人がいるときの大声での発声

- ・円陣を組んでのエール
- ・剣道の打突時の声 など

- 3 運動中、マスクの着用は必要ないが、見学者にはマスクを着用させる。

[文化系部活動に関する事項]

- 1 分散登校中は、合奏や合唱、集団での演技等を行わない。なお、いわゆる3密を避け、個人練習、少人数の活動や必要に応じて屋外での練習を取り入れるなど、工夫をする。
- 2 「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」は避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにするなど、活動の隊形についても工夫をする。
- 3 屋外や屋内の換気の良い環境であっても、至近距離（およそ2メートル以内）での発声や激しい動きが伴う活動（演劇、ダンス練習等）は避ける。
- 4 楽器や小道具等の使い回しは避けること。やむを得ず使用するときは、使用前に消毒を行うとともに、使用の前後で必ず手洗いを行う。
- 5 複数の生徒が触れる可能性があるもの（ピアノの鍵盤、楽器等）は部活動中もこまめに消毒する。
- 6 調理等を伴う活動では、近距離や向かい合わせになることを避け、調理室、調理器具及び食器等の衛生管理及び前後の手洗いを徹底する。

運動部活動を安全に再開するためのガイドライン

共通注意事項

- 運動実施前体調チェック
- 室内は常に換気
- マスク着用義務なし
- 道具の衛生管理
- 準備・整理体操
- 運動前後の手洗い・うがい・手指の消毒

ステップ	第1ステップ	
期 間	1週目(6/15~6/21)	2週目(6/22~6/28)
間 隔 人 数	約2m以上の間隔 20名程度で実施	
運動強度 方 法	軽い運動に留める 接触を伴う運動は避ける	
練習日数	週2回程度の実施	週3~4回程度の実施
留意事項	部活動への参加については、保護者の理解を得た上で、無理をさせないよう配慮する。	

ステップ	第2ステップ	
期 間	3週目(6/29~7/5)	4週目(7/6~7/12)
間 隔 人 数	約1m以上の間隔 40名程度で実施	
運動強度 方 法	激しい運動は避ける 接触を伴う運動は避ける	
練習日数	週3~4回程度の実施	流山市部活動ガイドライン に準ずる
留意事項	運動の質や量を少しずつ高めることにより、けがの防止に努める。	

ステップ	第3ステップ
期 間	5週目(7/13～)以降
間 隔 人 数	必要以上の接近は避ける 大人数が集まる運動行事は控える
運動強度 方 法	運動制限なし 接触の多い運動時間の制限
練習日数	流山市部活動ガイドライン に準ずる
留意事項	熱中症対策として、短い間隔で 休憩をとり、水分補給を確実に 行わせる。

練習試合等を実施する場合、
熱中症対策、新型コロナウイルス
感染拡大状況を考慮すると
ともに、該当する学校長同士で
協議する。

参考資料

- ・新型コロナウイルスから体育・スポーツを安全に再開するためのガイドライン(千葉大学医学部附属病院スポーツメディックスセンター及び千葉県アスレティックトレーナー協議会, 2020.5.28)
- ・県立学校における部活動の再開について(教学指第281号, 令和2年6月2日)

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況等によっては、本ガイドラインの内容を見直し
改めて通知いたします。